



AS
10-1-94

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

re application of:

Kazuo KURODA

Serial No.: 08/672,035

Group Art Unit: 2512

Filed: June 26, 1996

Examiner:

For: METHOD OF RECORDING INFORMATION ON A
WRITABLE OPTICAL DISC AND A SYSTEM THEREOF

CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119

Honorable Commissioner
of Patents and Trademarks
Washington, D. C. 20231

RECEIVED
SEP 5 1996
GROUP 2500
September 26, 1996

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application is hereby requested for the above-identified application, and the priority provided in 35 U.S.C. 119 is hereby claimed:

Japanese Patent Appl. No. 7-159643;
dated June 26, 1995

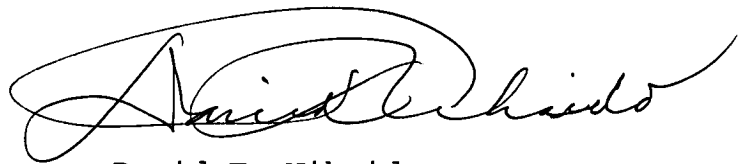
In support of this claim, the requisite certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the applicants have complied with the requirements of 35 U.S.C. 119 and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of the document.

In the event that any fees are due in connection with this paper, please charge our Deposit Account No. 14-1060.

Respectfully submitted,

NIKAIDO, MARMELESTEIN, MURRAY & ORAM LLP

A handwritten signature in dark ink, appearing to read "David T. Nikaido", written in a cursive style.

David T. Nikaido
Reg. No. 22,663

Atty. Docket No.: P7156-6021

Metropolitan Square
655 15th Street, N. W.
Suite 330 - G Street Lobby
Washington, D. C. 20005-5701
Tel: (202) 638-5000
Fax: (202) 638-4810

DTN/hk
Enclosure: Priority Document (1)

(translation)

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of
the following application as filed with this office.

Date of application: June 26, 1995

Application Number: Japanes Patent Application

No. 7-159643

Applicant(s): Pioneer Electronic Corporation

Date of this certificate: June 19, 1996

Commissioner,

Patent Office

Yuji KIYOKAWA

Certificate No. 08-3037556

RECEIVED
SEP 3 - 1996
G-15 2560

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1 9 9 5 年 6 月 2 6 日

出 願 番 号

Application Number:

平成 7 年特許願第 1 5 9 6 4 3 号

出 願 人

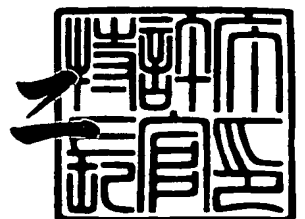
Applicant (s):

パイオニア株式会社

1 9 9 6 年 6 月 1 9 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

清 川 佑 二



出証番号 出証特平 0 8 - 3 0 3 7 5 5 6

【書類名】 特許願

【整理番号】 50P30032

【提出日】 平成 7年 6月26日

【あて先】 特許庁長官 清川 佑二 殿

【国際特許分類】 G11B 7/007

【発明の名称】 情報記録方法および記録再生装置

【請求項の数】 8

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 パイオニア株式会社 所沢工場内

【氏名】 黒田 和男

【特許出願人】

【識別番号】 000005016

【氏名又は名称】 パイオニア株式会社

【代表者】 松本 誠也

【代理人】

【識別番号】 100060690

【弁理士】

【氏名又は名称】 瀧野 秀雄

【電話番号】 03-5421-2331

【選任した代理人】

【識別番号】 100092233

【弁理士】

【氏名又は名称】 中内 康雄

【電話番号】 03-5421-2331

【手数料の表示】

【納付方法】 予納

【予納台帳番号】 012450

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9102134

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報記録方法および記録再生装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 追記型光ディスクにデータを記録させる情報記録方法であって、

前記光ディスクにデータを追記するときのデータフォーマットを、記録データのディレクトリや記録終了位置を示すパーティションアドレス等のマネージメント情報、追記するデータ、および記録の終了位置を示すパーティションデータで構成し、

追記時には光ディスクに記録されているマネージメント情報の中のパーティションアドレスを読み出し、読み出したパーティションアドレス位置にパーティションデータが記録されているか否かを判定し、判定がNOの場合は次のマネージメント情報を読み出してパーティションデータの判定を繰返させ、判定がYESの場合はパーティションデータが読み出されたアドレスにパーティションデータ以外のデータを再書込みし、続いて追記する前記マネージメント情報、追記データおよびパーティションデータを書込む、

ようにしたことを特徴とする情報記録方法。

【請求項2】 追記時に書込むマネージメント情報を、追記するデータに対するマネージメント情報に加えて光ディスクに記録されているデータに対するマネージメント情報も書込むようにしたことを特徴とする請求項1記載の情報記録方法。

【請求項3】 追記時に、追記するデータに対する前記パーティションデータの書込みを行わず、追記位置サーチ時のパーティションアドレス位置にデータが未書込みならばパーティションデータを書込み、続いて追記するマネージメント情報および追記データを書込ませるようにしたことを特徴とする請求項1または2記載の情報記録方法。

【請求項4】 追記型光ディスクにデータを記録させる情報記録装置において、

追記時に、前記光ディスクに書込まれているマネージメント情報を読み出すマネ

ージメント情報読出手段と、

前記マネージメント情報読出手段によって読出されたパーティションアドレスのデータを読出すパーティションデータ読出手段と、

前記パーティションデータ読出手段で読出したデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段での判定がN Oの場合はY E Sとなるまでパーティションアドレスのデータを読出して判定を繰返し、Y E Sとなったときパーティションデータが読出されたアドレスにパーティションデータ以外のデータを再書込むパーティションデータ再書込手段と、

前記パーティションデータ以外のデータの再書込に続いて、追記するデータのディレクトリやパーティションアドレス等の情報を書込むマネージメント情報書込手段と、

追記データの書込に続いて、前記マネージメント情報書込手段で書込まれたパーティションアドレスにパーティションデータを書込むパーティションデータ書込手段と、

を備えたことを特徴とする情報記録装置。

【請求項5】 前記マネージメント情報書込手段が追記時に書込むマネージメント情報を、追記するデータに対するマネージメント情報に加えて光ディスクに記録されているデータに対するマネージメント情報も書込ませるようにしたことを特徴とする請求項4記載の情報記録装置。

【請求項6】 前記パーティションデータ書込手段でのパーティションデータの書込を行わず、前記判定手段でパーティションデータが未書込か否かを判定させ、未書込と判定されたとき前記パーティションデータ再書込手段がパーティションデータを書込ますようにしたことを特徴とする請求項4または5記載の情報記録装置。

【請求項7】 前記請求項4または5で記載された情報記録装置によって記録された光ディスクよりの情報を再生する情報再生装置において、

再生時に、前記光ディスクに記録されているマネージメント情報を読出すマネージメント情報読出手段と、

前記マネージメント情報読出手段で読出されたパーティションアドレスのデータを読出すパーティションデータ読出手段と、

前記パーティション読出手段で読出されたデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段でパーティションデータ値であると判定されるまでパーティションデータの判定を繰返し、判定がYESとなったとき入力コマンドに対応するアドレスを読出されたマネージメント情報をサーチして求め、得られたアドレスにヘッドをシフトして記録データを読出す制御手段と、
を備えたことを特徴とする情報再生装置。

【請求項8】 前記請求項6で記載された情報記録装置によって記録された光ディスクよりの情報を再生する情報再生装置において、

再生時に、前記光ディスクに記録されているマネージメント情報を読出すマネージメント情報読出手段と、

前記マネージメント情報読出手段で読出されたパーティションアドレスのデータを読出すパーティションデータ読出手段と、

前記パーティション読出手段で読出されたデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段でパーティションデータ値でないと判定されるまでパーティションデータの判定を繰返し、判定がYESとなったとき入力コマンドに対応するアドレスを読出されたマネージメント情報をサーチして求め、得られたアドレスにヘッドをシフトして記録データを読出す制御手段と、
を備えたことを特徴とする情報再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は一度だけ記録可能な追記型光ディスクにデータを記録させる情報記録方法および情報記録再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

データの記録を一度だけ行なわすことができる追記型光ディスクが開発されている。この追記型光ディスクは、反射層の直前の、記録時の線速度を一定にするためのウォブリング信号や位置情報が形成されているプリグループ内に塗布されている有機色素にレーザ光を照射させて光学的変化をおこさせて情報を記録させるようにしている。

【0003】

このような追記型光ディスクへデータを記録する従来の装置は図5に示すようなフォーマットに従って記録を行なうようにしていた。

すなわち、図5(A)は追記型光ディスク(CD-R)の記録フォーマットを示しており、PCAは書込パワーをチェックするエリア、RIはリードインエリア、DATAは書込データエリア、ROはリードアウトエリアである。

【0004】

従来のCD-Rへのデータの書込は、図5(A)に示すように、追記するデータ毎にRIデータおよびROデータを追記データの前後に付加してCD-Rに書込むようにしている。

また、CD-Rに書込む各データのフォーマットは、図5(B)に示すように、書込データの一定長毎に同期信号(SYNC)および同期信号番号(S#)を付加して書込むようにしている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

前述したように、従来のCD-Rへのデータの書込は、追記するデータ毎に多量のリードインデータおよびリードアウトデータを付加して書込むようにしていた。

【0006】

このため、CD-Rに追記する回数に従ってリードインおよびリードアウトエリアが増加し、その分、必要なデータを記録する記録領域が減少することになる。

また、このように記録されたデータを再生するときは、どこまで書込が行なわれているかが不明であるので、最後のリードアウトを判定することができず、最

後のリードアウトエリアを通過して読取を行い、そこで書込みが行なわれていない（フォーマッティングされていない）ことを知ることによって判定を行なうようにしている。

【0007】

したがって、フォーマッティングされていなければ、スピンドルサーボ制御に用いる同期信号が得られず、同期はずれを生じ、再度複雑な処理によって同期をとり情報を再生しなければならなかった。

本発明は追記回数が増加してもデータ記録領域の減少が少なく、かつ最終追記データ位置が容易に判定できるようにした追記型光ディスクへの情報記録方法および記録再生装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

前述の課題を解決するための手段を説明する前に、図4を参照して、本発明の原理を説明する。

図4（A）は本発明に用いられるCD-Rの記録フォーマット、図4（B）は書込データフォーマットである。図4（B）に示す書込データフォーマットは図5（B）で説明したと同様なフォーマットを使用する。

【0009】

図4（A）において、書込パワーチェックエリア（PCA）、リードインエリア（RI）、データ（DATA）およびリードアウトエリア（RO）は、図5（A）で説明したと同様である。

本発明では、追記するデータの前に記録するデータのディレクトリや記録終了位置を示すパーティションアドレス等を記録するマネジメント情報エリア（MA）と記録データの次に記録終了位置を示すパーティションエリア（PA）を設ける。MAやPAは、RIやROよりデータ量が非常に少ないので、MAやPAを付加したことによるデータ領域の減少は非常に少なくなる。

【0010】

PAに書込むデータは予め定められた2進数のデータ（P）を書込む。

図5（A）に示すように、最初の書込（Chapter 1）がなされたCD-Rに、

2回目の追記(Chapter)を行う場合は、先ずMAを読み出してPA位置を知り、PA位置にパーティションデータ(P)が記録されているか否かを判定し、(P)が記録されている場合は、(P)以外の(E)なるデータを再書込した後で、Chapter 2で示すMA, DATAおよびPAを書込むようにする。したがって、複数の追記が行なわれた場合は、最後に追記されたChapterのPAのみ終了位置を示すパーティションデータ(P)が記録され、その以前のChapterのPAは(E)が再書込されて(P)以外のデータに変化し、容易に書込終了位置を知ることができる。

【0011】

また、CD-Rへの追記を終了する場合は、図4(A)に示すように、最後のPAに続いてROを書込みます。

つぎに、課題を解決するための手段を説明する。

追記型光ディスクにデータを記録させる情報記録方法であって、前記光ディスクにデータを追記するときのデータフォーマットを、記録データのディレクトリや記録終了位置を示すパーティションアドレス等のマネジメント情報、追記するデータ、および記録の終了位置を示すパーティションデータで構成し、追記時には光ディスクに記録されているマネジメント情報の中のパーティションアドレスを読み出し、読み出したパーティションアドレス位置にパーティションデータが記録されているか否かを判定し、判定がNOの場合は次のマネジメント情報を読み出してパーティションデータの判定を繰返させ、判定がYESの場合はパーティションデータが読み出されたアドレスにパーティションデータ以外のデータを再書込し、続いて追記する前記マネジメント情報、追記データおよびパーティションデータを書込む、ようにする。

【0012】

また、追記時に書込むマネジメント情報を、追記するデータに対するマネジメント情報に加えて光ディスクに記録されているデータに対するマネジメント情報も書込むようにする。

また、追記時に、追記するデータに対する前記パーティションデータの書込を行わず、追記位置サーチ時のパーティションアドレス位置にデータが未書込な

らばパーティションデータを書込み、続いて追記するマネージメント情報および追記データを書込ませるようにする。

【0013】

また、追記型光ディスクにデータを記録させる情報記録装置において、追記時に、前記光ディスクに書込まれているマネージメント情報を読出すマネージメント情報読出手段と、前記マネージメント情報読出手段によって読出されたパーティションアドレスのデータを読出すパーティションデータ読出手段と、前記パーティションデータ読出手段で読出したデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段での判定がNOの場合はYESとなるまでパーティションアドレスのデータを読出して判定を繰返し、YESとなったときパーティションデータが読出されたアドレスにパーティションデータ以外のデータを再書込むパーティションデータ再書込手段と、前記パーティションデータ以外のデータの再書込に続いて、追記するデータのディレクトリやパーティションアドレス等の情報を書込むマネージメント情報書込手段と、追記データの書込に続いて、前記マネージメント情報書込手段で書込まれたパーティションアドレスにパーティションデータを書込むパーティションデータ書込手段と、を備える。

【0014】

また、前記マネージメント情報書込手段が追記時に書込むマネージメント情報を、追記するデータに対するマネージメント情報に加えて光ディスクに記録されているデータに対するマネージメント情報も書込ませる。

また、前記パーティションデータ書込手段でのパーティションデータの書込を行わず、前記判定手段でパーティションデータが未書込か否かを判定させ、未書込と判定されたとき前記パーティションデータ再書込手段がパーティションデータを書込みます。

【0015】

また、前記請求項4または5で記載された情報記録装置によって記録された光ディスクよりの情報を再生する情報再生装置において、再生時に、前記光ディスクに記録されているマネージメント情報を読出すマネージメント情報読出手段と

、前記マネージメント情報読出手段で読出されたパーティションアドレスのデータを読出すパーティションデータ読出手段と、前記パーティション読出手段で読出されたデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段でパーティションデータ値であると判定されるまでパーティションデータの判定を繰返し、判定がYESとなったとき入力コマンドに対応するアドレスを読出されたマネージメント情報をサーチして求め、得られたアドレスにヘッドをシフトして記録データを読出す制御手段と、を備える。

【0016】

また、前記請求項6で記載された情報記録装置によって記録された光ディスクよりの情報を再生する情報再生装置において、再生時に、前記光ディスクに記録されているマネージメント情報を読出すマネージメント情報読出手段と、前記マネージメント情報読出手段で読出されたパーティションアドレスのデータを読出すパーティションデータ読出手段と、前記パーティション読出手段で読出されたデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段でパーティションデータ値でないと判定されるまでパーティションデータの判定を繰返し、判定がYESとなったとき入力コマンドに対応するアドレスを読出されたマネージメント情報をサーチして求め、得られたアドレスにヘッドをシフトして記録データを読出す制御手段と、を備える。

【0017】

【作用】

本発明の情報記録方法においては、追記時には光ディスクに記録されているマネージメント情報の中のパーティションアドレスを読出し、読出したパーティションアドレス位置にパーティションデータが記録されているか否かを判定し、判定がNOの場合は次のマネージメント情報を読出してパーティションデータの判定を繰返させ、判定がYESの場合はパーティションデータが読出されたアドレスにパーティションデータ以外のデータを再書込し、続いて追記する前記マネージメント情報、追記データおよびパーティションデータを書込むようにする。

【0018】

また、追記時に書込むマネージメント情報を、追記するデータに対するマネー

ジメント情報に加えて光ディスクに記録されているデータに対するマネージメント情報も書込むようにする。

また、追記時に、追記するデータに対する前記パーティションデータの書込を行わず、追記位置サーチ時のパーティションアドレス位置にデータが未書込ならばパーティションデータを書込み、続いて追記するマネージメント情報および追記データを書込ませるようにする。

【0019】

また、マネージメント情報読出手段は、追記時に、前記光ディスクに書込まれているマネージメント情報を読出す。パーティションデータ読出手段は、前記マネージメント情報読出手段によって読出されたパーティションアドレスのデータを読出す。判定手段は、前記パーティションデータ読出手段で読出したデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する。パーティションデータ再書込手段は、前記判定手段での判定がNOの場合はYESとなるまでパーティションデータの判定を繰返し、YESとなったときパーティションデータが読出されたアドレスにパーティションデータ以外のデータを再書込む。マネージメント情報書込手段は、前記パーティションデータ以外のデータの再書込に続いて、追記するデータのディレクトリやパーティションアドレス等の情報を書込む。パーティションデータ書込手段は、追記データの書込に続いて、前記マネージメント情報書込手段で書込まれたパーティションアドレスにパーティションデータを書込む。

【0020】

また、前記マネージメント情報書込手段が追記時に書込むマネージメント情報を、追記するデータに対するマネージメント情報に加えて光ディスクに記録されているデータに対するマネージメント情報も書込ませる。

また、前記パーティションデータ書込手段でのパーティションデータを書込を行わず、前記判定手段でパーティションデータが未書込か否かを判定させ、未書込と判定されたとき前記パーティションデータ再書込手段がパーティションデータを書込ますようにする。

【0021】

また、マネージメント情報読出手段は、再生時に、前記光ディスクに記録されているマネージメント情報を読出す。パーティションデータ読出手段は、前記マネージメント情報読出手段で読出されたパーティションアドレスのデータを読出す。判定手段は、前記パーティション読出手段で読出されたデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する。制御手段は、前記判定手段でパーティションデータ値であると判定されるまでパーティションデータの判定を繰返し、判定がYESとなったとき入力コマンドに対応するアドレスを読出されたマネージメント情報をサーチして求め、得られたアドレスにヘッドをシフトして記録データを読出す。

【0022】

また、マネージメント情報読出手段は、再生時に、前記光ディスクに記録されているマネージメント情報を読出す。パーティションデータ読出手段は、前記マネージメント情報読出手段で読出されたパーティションアドレスのデータを読出す。判定手段は、前記パーティション読出手段で読出されたデータ値がパーティションデータ値であるか否かを判定する。制御手段は、前記判定手段でパーティションデータ値でないと判定されるまでパーティションデータの判定を繰返し、判定がYESとなったとき入力コマンドに対応するアドレスを読出されたマネージメント情報をサーチして求め、得られたアドレスにヘッドをシフトして記録データを読出す。

【0023】

以上のように、追記するデータの前に記録データのディレクトリや記録終了位置を示すパーティションアドレス等のマネージメント情報を、また後に記録終了位置を示すパーティションデータを付加して記録させ、かつ追記に際して追記型光ディスクに書込まれている最後のデータのパーティションデータをパーティションデータ以外のデータになるよう再書込を行って追記を行うようにしたので、追記回数が増加してもデータ記録領域の減少は少なく、かつ最終追記データ位置を容易に見つけることができる。

【0024】

また、マネージメント情報を追記するデータに対するマネージメント情報に加

えて、以前に書込まれているデータに対するマネージメント情報も付加して書込みますようにしたので、最終追記データのマネージメント情報には記録されているデータの全てのマネージメント情報が含まれ、このマネージメント情報を参照することにより、容易に記録装置を知ることができる。

【0025】

また、情報の再生時には、パーティションデータが記録されていれば、その位置が記録終了位置であると判定して入力コマンドで指示された位置にシフトして再生を行うようにしたので、ヘッドがフォーマッティングされていない部分に出ることが無くなって同期はずれが無くなり、直ちに再生を開始することができる。

【0026】

【実施例】

本発明の一実施例を図1を参照して説明する。図1は本発明の実施例の構成図である。

図1において、1は追記型光ディスク(CD-R)、2はモータ、3はピックアップ、4はサーボ回路、5はレーザ、6はエンコーダ、7はレーザ5のパワー制御回路、8は再生増幅器、9はデコーダ、10はガイド信号デコーダ、11はマネージメント情報読出部、12はマネージメント情報書込部、13はパーティションデータ読出部、14は判定部、15はパーティションデータ(再)書込部、16は制御部、17は入力部、18~23はインタフェース(I/O)、24は処理を行うプロセッサ(CPU)である。

【0027】

つぎに、図2を参照して、本発明の記録時の動作を説明する。

処理S1では、サーボ回路4は、モータ2の回転、ピックアップ3のトラッキングおよびフォーカスを制御するサーボ処理を行なう。

処理S2では、制御部16はパワー制御回路7に指令して、図4(A)に示すCD-RのPCA領域でレーザ5の出力を上げ、書込時のパワー最適値のチェックを行う。

【0028】

処理S3では、CD-R1が未書込の光ディスクである場合は処理S4に、また書込済のものである場合は処理S9に移る。

処理S4では、マネージメント情報書込部12はマネージメント情報を作成し、I/O18を介して出力し、エンコーダ6でエンコードしてレーザ5の出力を変調し、ピックアップ3よりCD-R1に照射してマネージメント情報の書込を行う。

【0029】

処理S5では、制御部7は、I/O22より入力された記録データをI/O18を介して出力し、CD-R1にデータを書込む。

データの書込が終了すると、処理S6では、パーティションデータ（再）書込部15は、パーティションデータ（P）の書込を行う。

【0030】

処理S7では、入力部17よりCD-R1に書込を終了させる入力が入力されていない場合は処理を終了し、入力されている場合は処理S8に移って図4（A）に示すようにリードアウトデータとMOに書込んで処理を終了する。

また、処理S3での判定がNOの場合は処理S9に移り、処理S9では、マネージメント情報読出部11は、I/O20を介してCD-R1よりマネージメント情報を読出す。

【0031】

処理S10では、パーティションデータ読出部13は、処理S9で読出されたマネージメント情報の中のパーティションデータが記録されているアドレスに対応するアドレスよりパーティションデータを読出する。

処理S11では、判定部14は、処理S10で読出したデータが、正規のパーティションデータ（P）であるか否かを判定し、判定がYESの場合は処理S12に移り、判定がNOの場合は処理S9に移ってマネージメント情報の読出を行い、処理S9～S11を繰返す。

【0032】

処理S12では、CD-R1に書込エリアが無い場合は処理S8に移り、書込エリアが有る場合は処理S13に移る。

処理S13では、パーティションデータ（再）書込部15は、処理S10で読出したパーティションデータのアドレスに、正規のパーティションデータ（P）とは異なるデータ（E）を再書込し、処理S4に移る。

【0033】

すなわち、図4（A）のChapter 1のPAで（P）が検出された場合は、Chapter 1のPAに（E）再書込を行い、記録を（P）でないようにし、最後に記録されているChapterのPAのみ（P）が記録される。

なお実施例では、処理S4でのマネージメント情報の書込は、書込を行うデータに対するマネージメント情報のみを書込ますようにしていたが、処理S9で読出した以前に記録されているデータに対するマネージメント記録情報も付加して書込を行うようにしてもよい。

【0034】

また、実施例ではパーティションデータ（P）が検出されたら、（E）を書込して追記データを書込み、最後のChapterのPAにのみ（P）が書込まれているようにしていたが、追記データに対するPAにはデータを未書込とし、追記に際して未書込のPAがあったときは、この位置が以前の書込終了位置であると判定して（P）を書込み、続いて追記データを書込むようにしても良い。

【0035】

すなわち、追記したChapterのPAは、図4（B）に示すSYNCおよびS#は書込みが行なわれるが、書込データは未書込とする。このようにしてもSYNCは書込みが行なわれているので、同期はずれの問題は無い。

つぎに、図3を参照して、再生時の動作を説明する。

【0036】

処理S21で入力部17より再生コマンドが入力されると処理S22に移ってフォーカス、スピンドルおよびトラッキングのサーボ系の処理が行なわれる。

処理S23では、マネージメント情報読出部11は、最初のChapterのMAよりマネージメント情報を読出す。

【0037】

処理S24では、パーティションデータ読出部13は、処理S23で読出した

マネージメント情報の中のパーティションデータのアドレスよりデータを読み出す。

処理S25では、判定部14は、処理S24で読み出したデータが正規のパーティションデータ(P)であるかを判定し、判定がNOの場合は処理S23に移って次のChapterのマネージメント情報を読み出して処理S23～S25を繰り返す。

【0038】

処理S25での判定がYESの場合は、処理S26に移って読み出されたマネージメント情報を参照して処理S21で入力されたコマンドに対応する位置にヘッドをスキップし、処理S27に移って記録しているデータを読み出す。

データの読み出しが終了し、次のコマンドが入力されている場合は処理S26に移り、入力されていない場合は処理を終了する。

【0039】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば次の効果が得られる。

追記するデータの前に記録データのディレクトリや記録終了位置を示すパーティションアドレス等のマネージメント情報を、また後に記録終了位置を示すパーティションデータを付加して記録させ、かつ追記に際して追記型光ディスクに書込まれている最後のデータのパーティションデータをパーティションデータ以外のデータになるよう再書込を行って追記を行うようにしたので、追記回数が増加してもデータ記録領域の減少は少なく、かつ最終追記データ位置を容易に見つけることができる。

【0040】

また、マネージメント情報を追記するデータに対するマネージメント情報に加えて、以前に書込まれているデータに対するマネージメント情報も付加して書込ますようにしたので、最終追記データのマネージメント情報には記録されているデータの全てのマネージメント情報が含まれ、このマネージメント情報を参照することにより、容易に記録装置を知ることができる。

【0041】

また、情報の再生時には、パーティションデータが記録されていれば、その位置が記録終了位置であると判定して入力コマンドで指示された位置にシフトして再生を行うようにしたので、ヘッドがフォーマットされていない部分に出ることが無くなって同期はずれが無くなり、直ちに再生を開始することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施例の構成図である。

【図2】

同実施例の記録時の動作フローチャートである。

【図3】

同実施例の再生時の動作フローチャートである。

【図4】

本発明の追記型光ディスクへの記録フォーマットを示す図である。

【図5】

従来の追記型光ディスクへの記録フォーマットを示す図である。

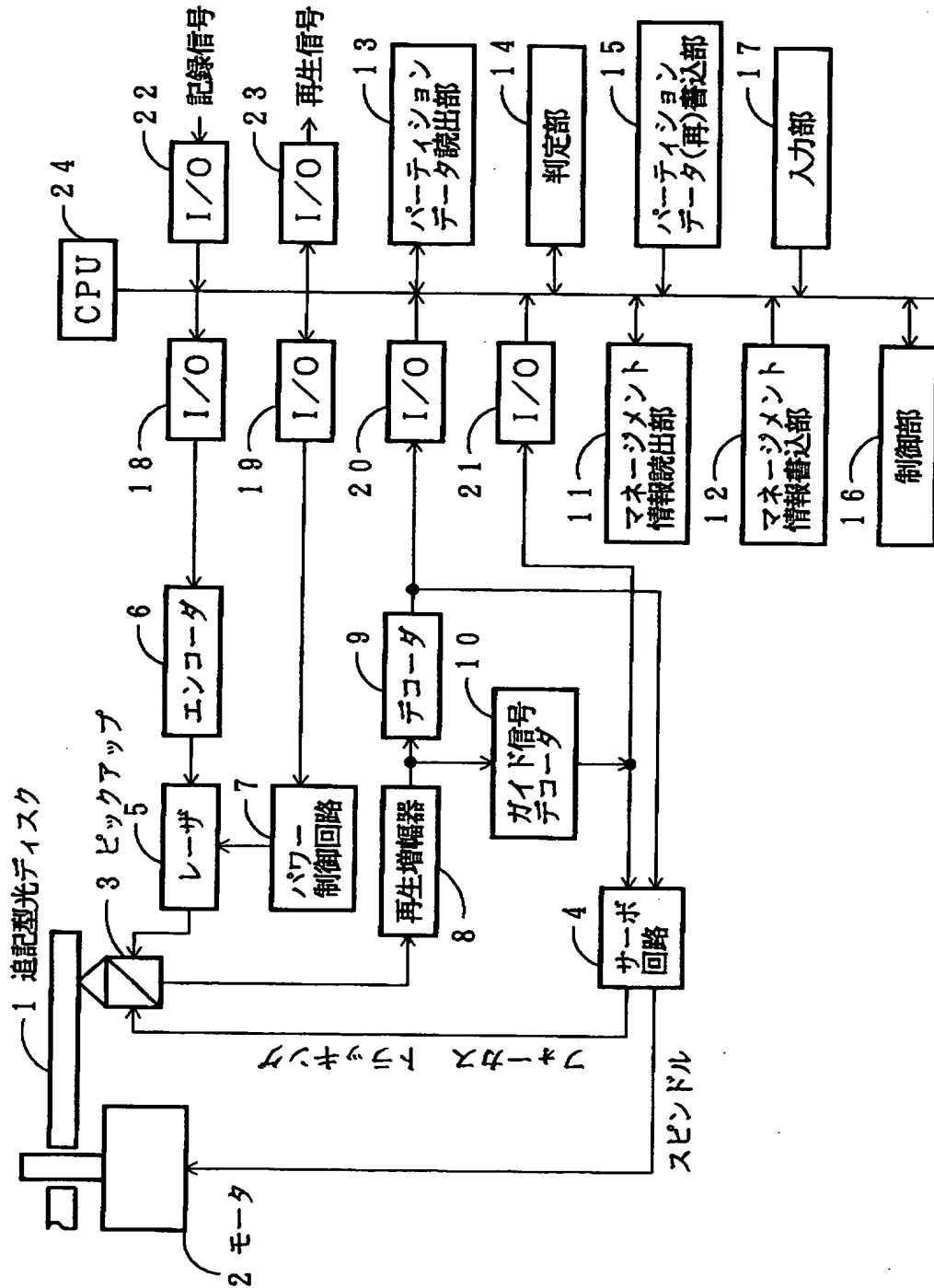
【符号の説明】

- 1 追記型光ディスク (CD-R)
- 2 モータ
- 3 ピックアップ
- 4 サーボ回路
- 5 レーザ
- 6 エンコーダ
- 7 パワー制御回路
- 8 再生増幅器
- 9 デコーダ
- 10 ガイド信号デコーダ
- 11 マネージメント情報読出部
- 12 マネージメント情報書込部

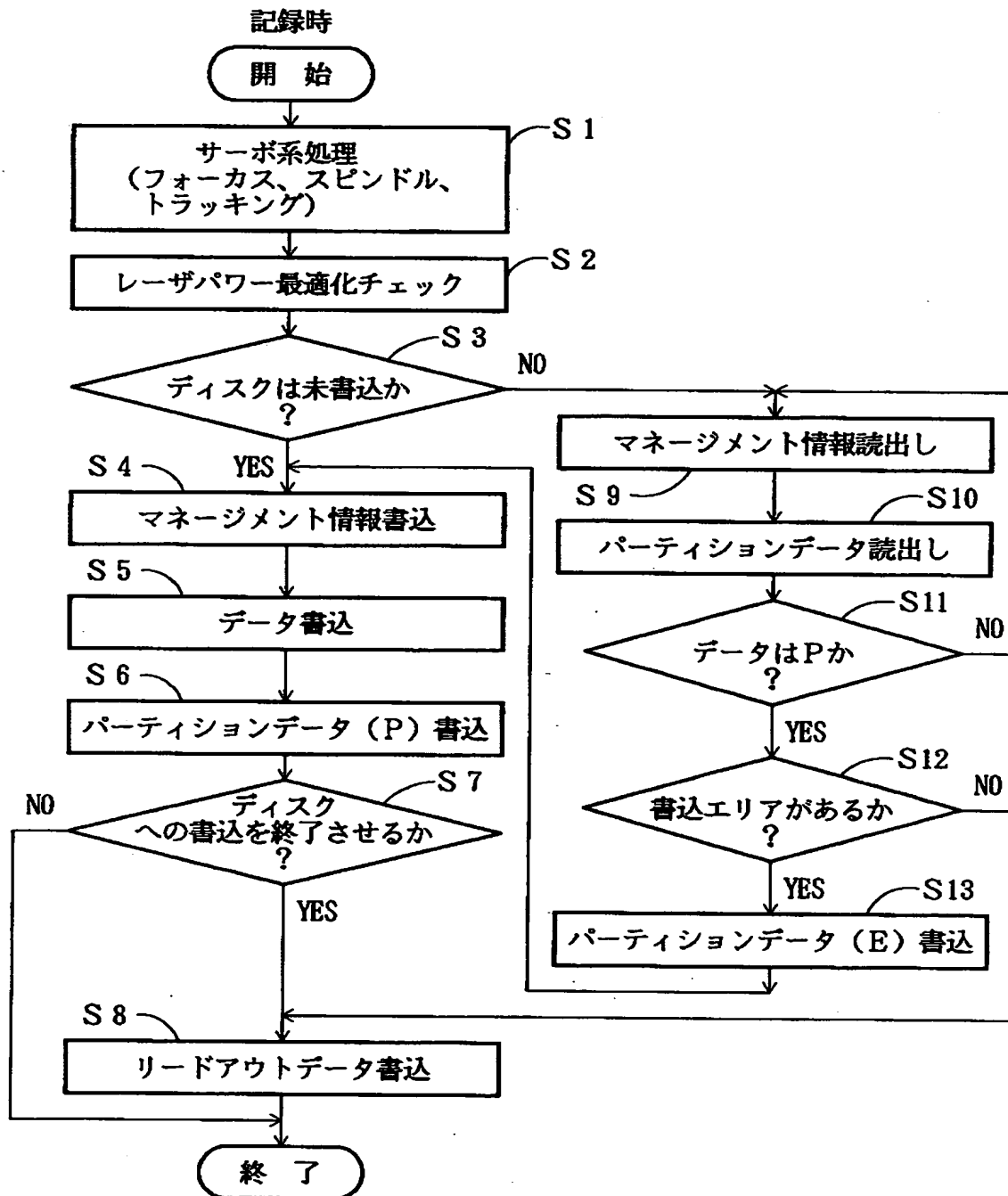
- 13 パーティションデータ読出部
- 14 判定部
- 15 パーティションデータ(再)書込部
- 16 制御部
- 17 入力部
- 18~23 インタフェース(I/O)
- 24 プロセッサ(CPU)

【書類名】 図面

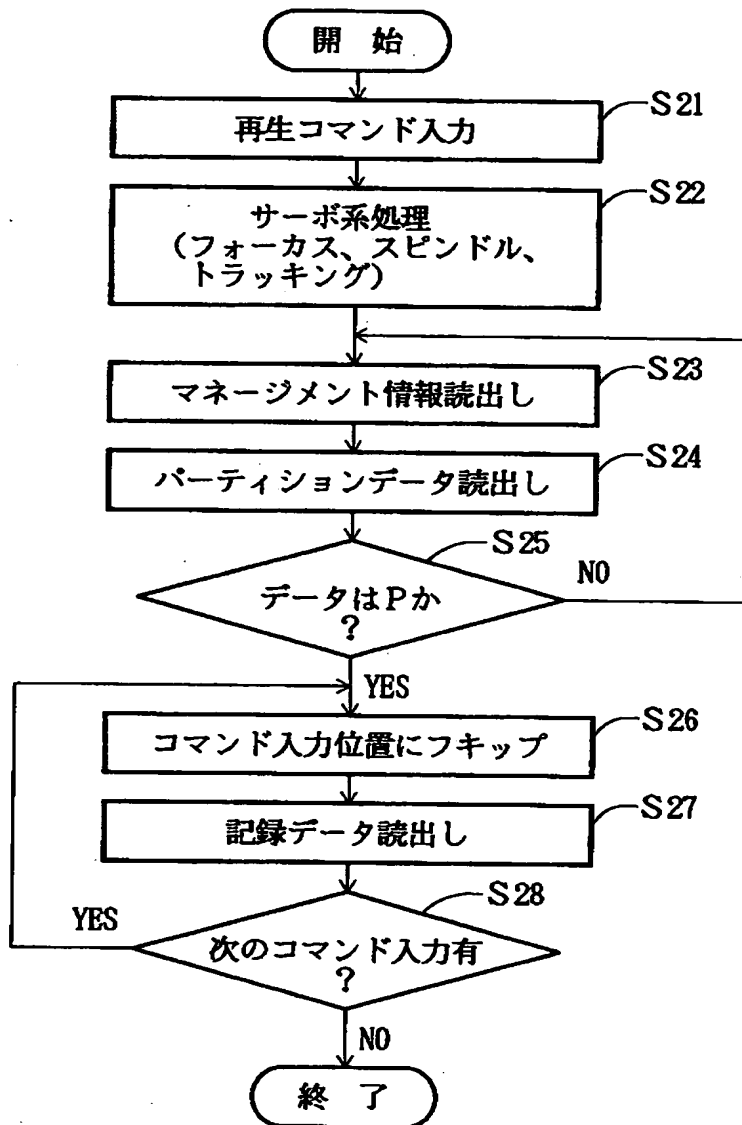
【図 1】



【図2】

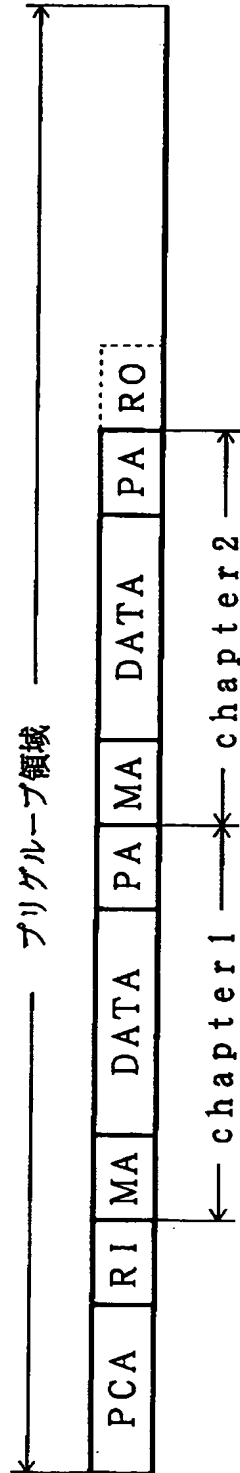


【図3】



【図4】

(A) CD-Rの記録フォーマット



PCA ...書込パワーチェックエリア
 RI ...リードインエリア
 MA ...マネージメント情報エリア
 DATD...書込データエリア
 PA ...パードアイデンティティエリア
 RO ...リードアウトエリア

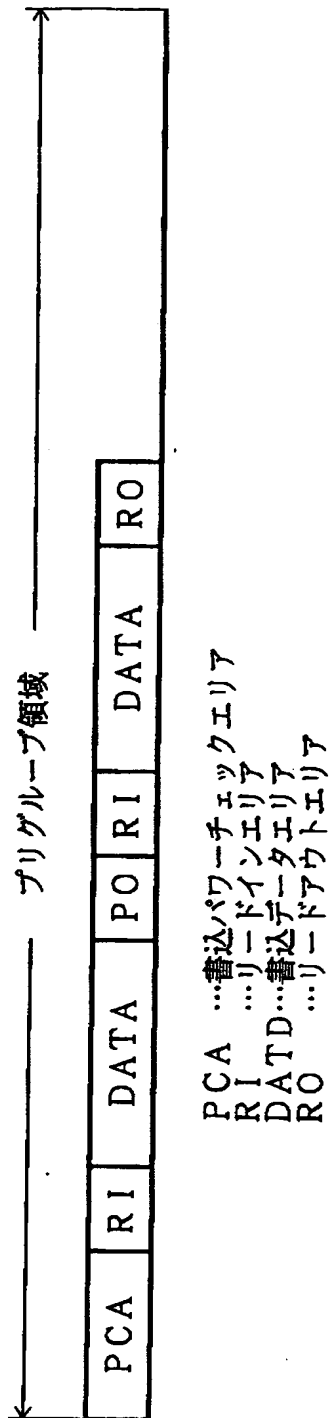
(B) 書込データフォーマット



SYNC...同期信号
 S# ...同期信号番号

【図5】

(A) CD-Rの記録フォーマット



(B) 書込データフォーマット



SYNC...同期信号
 S# ...同期信号番号

【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 本発明は追記回路が増加してもデータ記録領域の減少が少なく、かつ最終追記データ位置が容易に判定できるようにした情報記録方法および記録再生装置を提供することを目的とする。

【構成】 追記時には光ディスクに記録されているマネージメント情報の中のパーティションアドレスを読み出し、読み出したパーティションアドレス位置にパーティションデータが記録されているか否かを判定し、判定がNOの場合は次のマネージメント情報を読み出してパーティションデータの判定を繰返させ、判定がYESの場合はパーティションデータが読み出されたアドレスにパーティションデータ以外のデータを再書込し、続いて追記する前記マネージメント情報、追記データおよびパーティションデータを書込むようにする。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000005016

【住所又は居所】 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

【氏名又は名称】 パイオニア株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100060690

【住所又は居所】 東京都渋谷区恵比寿二丁目36番13号 広尾SK
ビル4階 瀧野国際特許事務所

【氏名又は名称】 瀧野 秀雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100092233

【住所又は居所】 東京都渋谷区恵比寿二丁目36番13号 広尾SK
ビル4階 瀧野国際特許事務所

【氏名又は名称】 中内 康雄

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005016]

1. 変更年月日	1990年 8月31日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都目黒区目黒1丁目4番1号
氏 名	パイオニア株式会社